



2023年3月期 第1四半期 決算説明補足資料

株式会社 鶴見製作所
証券コード：6351

〈2022年8月9日〉

2023年3月期 第1四半期 トピックス

- 売上高、営業利益、経常利益が大幅に伸長し、過去最高を記録
- 海外部門が好調
- 為替レート（円安）が業績に寄与
- 社会情勢不安・エネルギー価格や原材料の高騰

2023年度第1四半期 連結決算ハイライト

Point

- 海外子会社の業績が好調であることに加え、連結対象子会社の増加要因もあり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が伸長
- 為替レート(円安)が業績に寄与

		前年同時期比	業績予想
■ 売上高	134億円	+27億円	525億円
■ 営業利益	13億円	+1億円	56億円
■ 経常利益	28億円	+13億円	62億円
■ <small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	17億円	+7億円	43億円

2023年度第1四半期 連結実績

Point

- 物流経費の高騰により、販管費が増加
- 為替レート(円安)により、営業外収益・経常利益が大幅に増加

(単位:百万円)	2022年	2023年				増減	
	第1四半期	第1四半期	中間予想	通期予想	進捗率	金額	%
売上高	10,704	13,466	22,300	52,500	25.7%	2,762	25.8%
売上総利益	3,626	4,354				728	20.1%
販売費及び一般管理費	2,452	3,027				574	23.4%
営業利益	1,174	1,327	2,430	5,600	23.7%	153	13.1%
営業外収益	295	1,555				1,259	425.6%
経常利益	1,449	2,806	2,660	6,200	45.3%	1,356	93.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,015	1,672	1,850	4,300	38.9%	656	64.6%
参考 為替レート							
対米ドル(円)	110.61	136.64					

(期末レート(1USD) 2022/3末 122.61円)

連結貸借対照表

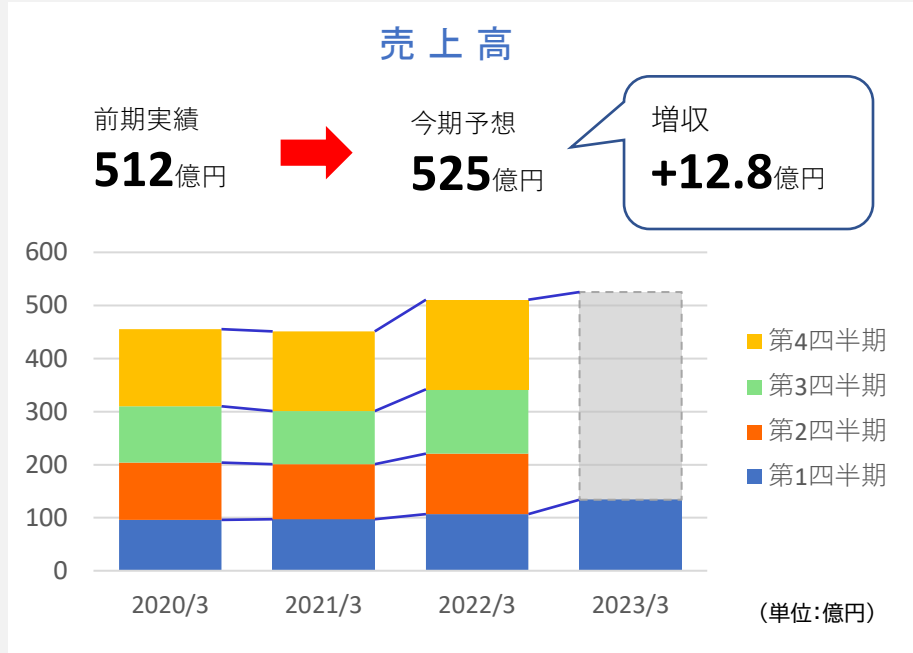
(単位:百万円)	2022年 3月末	2022年 6月末	増 減
資産合計	87,299	89,587	2,287
流動資産	52,940	54,486	1,545
固定資産	34,359	35,101	741
負債合計	15,451	14,994	▲457
流動負債	12,717	12,329	▲387
固定負債	2,733	2,664	▲69
純資産合計	71,848	74,593	2,744
自己資本比率	81.1%	81.9%	0.8%

株価の状況と配当



	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
1株当たり 配当金 (円)	中間配当	10	12	12	13	14	14	15	18
	期末配当	10	12	12	13	20	20	21	22
	記念・特別配当	5			5		2	4	2
	年間配当	25	24	24	31	34	36	40	42

売上高推移表（連結）



Point

- 第1四半期は海外部門の売上が前年比191.1%と伸長（北米/東南アジアが好調）
- 国内部門の売上は横ばい
- 海外部門の売上伸長を受け、通期の売上見通しは525億円（前年比102.5%）の増収を予想

営業利益推移表（連結）

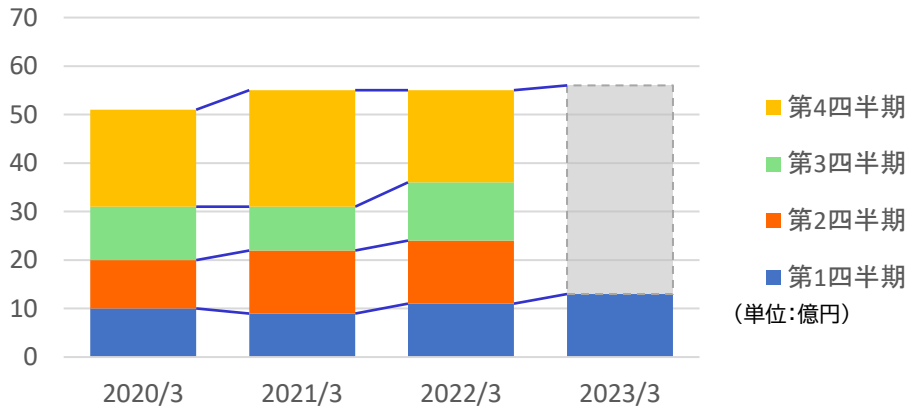
営業利益

前期実績
55億円



今期予想
56億円

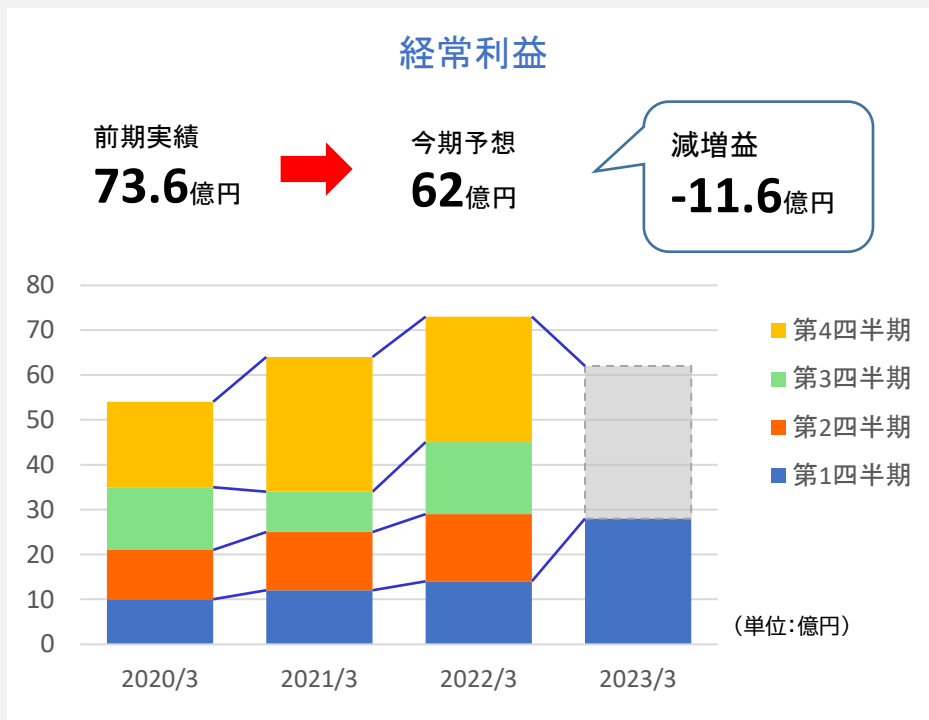
増益
+1億円



Point

- 第1四半期の営業利益は前年比113.0%の増収
- 部材価格の高騰と販管費(特に物流費)の増加により売上高営業利益率は9.8%(前年比▲1.1%)と低下
- 通期の営業利益は、エネルギー価格や部材価格の高騰と為替変動リスクを考慮し、当初予想額(56億円)のまま据え置き

経常利益推移表（連結）



Point

- 第1四半期の経常利益は為替レート（円安）の影響により、前年比193.6%の大幅増益
- 通期の経常利益の見通しは、世界情勢の緊張が高まるなか、今後の為替相場の動向は不透明な状況であるため、当初予想額のまま据え置き

売上高・営業利益（需要先別）

Point

- 国内部門：受注は増加したが部材の調達難による生産への影響や物流費の高騰等あり営業利益は減少
- 海外部門：北米を中心に売上高・営業利益が伸長

（単位：百万円）

	2022年度 第1四半期		2023年度 第1四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内部門	7,625	776	7,613	667
前年増減率	+4.7%	+17.7%	-0.2%	-14.0%
海外部門	3,079	397	5,853	660
前年増減率	+23.0%	+35.0%	+90.1%	66.0%
合計	10,704	1,174	13,466	1,327
前年増減率	+9.4%	+23.1%	+25.8%	13.1%

地域別売上高

Point

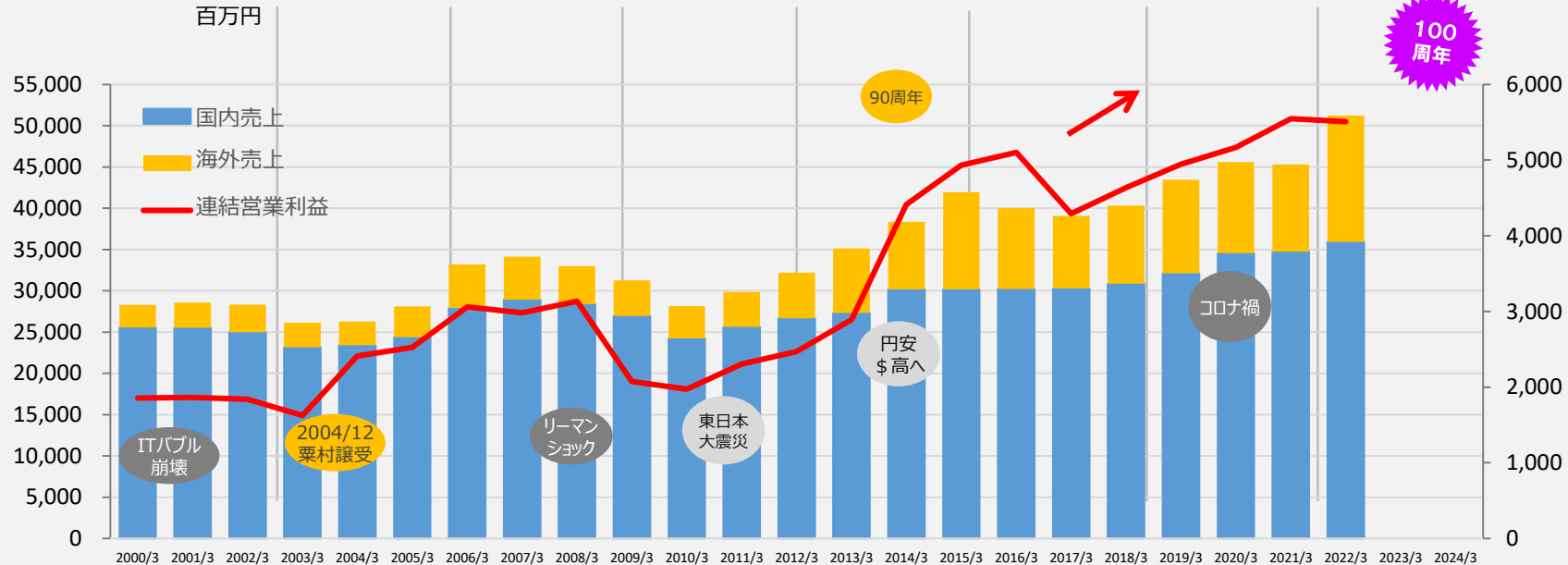
- 北米を中心とした鉱山市場・建設市場の受注が好調
- 東南アジアでのインフラ関連の受注が好調

(単位:百万円)

	日本	海外全体	海外内訳			合計
			北米	東南アジア	その他	
2023年度 第1四半期	7,613	5,853	3,055	2,116	681	13,466
2022年度 第1四半期	7,625	3,079	1,879	849	349	10,704
2021年度 第1四半期	7,281	2,504	1,464	650	389	9,785
2020年度 第1四半期	6,829	2,809	1,864	697	247	9,638

※・今期より、東南アジアにベトナム・タイ、日本に㈱テクノロジーサービス北條を追加しました。
 ・「その他」の区分は、中国の現地法人の事業活動を含んでおります。
 ・グループ内取引の消去後の数字です。

過去20年の連結売上高と営業利益



	Σ2003	NS2006	a2009	Revolution 2012	Acceleration 2015	Execution 2018	BASE100	NEXT100
テーマ	水中ポンプのリーディングカンパニーへの挑戦	新しい時代への変革	より付加価値のある技術・製品・サービスの提供を目指すグローバル企業へ	技術志向型企業への変革	グローバルスピード3倍速の実現	取組み課題を着実に実行し、期日内に、確実に、結果を出す	次世代への礎づくり	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業へ
副題	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	従来からのグローバル戦略の加速度的な発展を通じ、世界市場のポジションングを狙う!	グローバルグループとしての確固たる体制を築き、建機の優位性を保ちながら、設備市場を深耕する	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業の礎となる事業基盤を確立する	施策を確実に実行し、目標必達する